

平成 20 年 12 月 10 日

インフォテリア株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社

明日の XML ソフトウェアデベロッパーを発掘

-全世界で「XML プログラミング・コンテスト」を開催-

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、社長：平野洋一郎、以下インフォテリア）および日本アイ・ビー・エム株式会社（本社：東京都港区、社長兼会長：大歳卓麻、NYSE：IBM、以下日本 IBM）は、XML の特性を活かした実用的かつユニークな XML アプリケーションを広く募集する「XML プログラミング・コンテスト」を本日より開始します。

1998 年に制定された「XML」は、今日ではアプリケーション間連携、Web サービス、文書管理、Web コンテンツ管理など、あらゆる分野で利用が進み、今や「XML」はシステム構築に不可欠なデータ形式となりつつあります。そのため、ソフトウェアデベロッパーにとって、XML をいかに活用できるかは重要なテーマです。才能ある XML のソフトウェアデベロッパーを発掘するため、学生部門、プロフェッショナル部門の 2 部門での「XML プログラミング・コンテスト」を開催します。各部門の優秀者 3 名には、豪華商品も授与されます。募集の概要は以下の通りです。

開催部門： 学生部門、プロフェッショナル部門

応募方法： 「XML プログラミング・コンテスト」Web サイトより申し込み

Web サイト URL： <http://xmlchallenge.jp/>

表彰： 各部門の優秀者 3 名に、表彰状と副賞を授与（MacBook Air、プレイステーション 3、iPod Touch など）

審査基準：

- ① 実用性（実用性の高いアプリケーションか）
- ② 再利用性（開発したアプリケーションまたはその一部を再利用できるか）
- ③ 先進性（発想の独自性、アプリケーションの創造性）
- ④ ユーザビリティ（ユーザーにとってわかりやすいアプリケーションか）

応募条件：

- ① IBM DB2 pureXML 機能を利用したアプリケーションであること
- ② 最低 10 件以上のテストデータ及びプログラム仕様書をご用意いただけること
- ③ 受賞候補に挙がった場合、2009 年 3 月 6 日（金）午後 12 時に東京（赤坂）で行われる最終審査において 15 分間のプレゼンテーションを実施いただけること

④ 受賞した場合、審査会後に行われる授賞式に参加いただけること

審査方法:

1次審査

応募いただいたプログラムの中から受賞候補となるプログラムを選定し、2月26日頃までに該当者にご連絡いたします。

最終審査

2009年3月6日(金) 東京(赤坂)にて行います。最終審査では、15分間のプレゼンテーションを実施します。

審査員:

インフォテリア 北原 淑行 取締役副社長/CTO

日本IBM 丸山 宏 執行役員 東京基礎研究所長

日本データベース学会からの推薦者

他、数名

締め切り:2009年2月16日

優秀者発表:2009年3月6日

詳細は、「XMLプログラミング・コンテスト」Webサイト: <http://xmlchallenge.jp/> をご覧ください。

「XMLプログラミング・コンテスト」はDB2ユーザーによるNPOであるIDUG(International DB2 Users Group)がワールドワイドに主催するコンテストですが、インフォテリア、日本IBMが協賛企業として日本での開催、運営を実施、また、日本データベース学会が日本での開催を後援します。

以上

■IDUGについて

International DB2 Users Group (IDUG®) は、DB2ファミリー製品の効果的な利用を推進するための高品質な研修・サービスを提供し、情報サービスのコミュニティを支援・強化することをミッションとするDB2ユーザーによるNPOです。

・詳細はこちら <http://www.idug.org/>

■インフォテリア株式会社について

1998年に国内初のXML専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、ビジネスにおける企業内外の多種多様なコミュニケーションを迅速化、可視化するためのソフトウェアを開発・提供しています。

・詳細はこちら <http://www.infoteria.com/>

■日本アイ・ビー・エム株式会社について

日本 IBM の詳細に関しては、 <http://www.ibm.com/jp> をご覧ください。

■日本データベース学会について

日本データベース学会は、日本のデータベースコミュニティの一層の充実をはかり、我が国のデータベース活動のビジビリティを国内外で向上させるために 2002 年に創設された学会で、論文誌刊行、産学連携、表彰、ML の運営、さまざまなイベント開催など多彩な活動を行っています。

・詳細はこちら <http://www.dbsj.org/>

<お問い合わせ先>

「XML プログラミング・コンテスト」運営事務局(インフォテリア株式会社)

記事掲載用 : xmlcontest@infoteria.co.jp (電子メール)

プレス専用 : 03-5718-1660 (電話)

xmlcontest@infoteria.co.jp (電子メール)

担当 : 穴沢 悦子